

令和 2 年度事業報告書

当センターは、昭和 58 年開館以来、伝統的工芸品指定 6 産地をはじめ県内地場産業の振興拠点施設としての機能を有し、効率的な事業運営を行いながら、関連業界や地域と連携し、県内の伝統産業の普及拡大に努めてきている。

令和 2 年度は、10 月の御旅屋セリオへの移転リニューアルオープンに向け、移転整備作業等を高岡市の支援のもと各業界と連携し進めるなか、全国的な新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言発令により令和 2 年 4 月 18 日～5 月 17 日の期間、展示販売場を臨時休業することとなった。緊急事態宣言解除後は、館内清掃や感染症の注意喚起チラシの掲示、消毒液の設置などを徹底し、安心して来館いただけるよう努めたが、団体旅行や校外学習などの自粛により著しく来館者が減少する結果となった。

移転整備は、コロナ禍であったがスケジュール通り行うことができ 10 月 3 日リニューアルオープンを迎えることができた。移転後の利用状況としては、中心市街地の立地と公共交通機関のアクセスが良くなったこともあり、県内外の個人観光者の他、近隣の高校生の来館も散見されるようになった。また、高岡古城公園や高岡大仏、金屋町などの観光スポットが徒歩圏内になったことからコロナ禍で県外への校外学習ができなくなった県内小・中学校にも施設を活用していただけるようになった。

移転に伴い新たに設けた撮影スタジオの S T @ R Z I B A (スタジーバ) は、伝統的工芸品に関連する企業の方々が新商品の写真撮影や県外企業とのオンライン対談などの新たな販路開拓や情報発信として活用されている。

また、事業としては、産学官連携事業において富山大学芸術文化学部と連携し、前年度に決めた愛称 Z I B A (ジーバ) に対し、学生公募によりロゴマークを作成し、看板や包装紙などに広く活用し親しまれる新たな施設となるよう取り組んだ。販路開拓事業においては、コロナ禍で展示会やイベントなどの中止が相次ぎ新商品の発表の場がなくなっていることを受け、数少ない開催となった「東京インターナショナル・ギフト・ショー春 2021」に出展し、県内の伝統工芸産地の紹介と新規顧客獲得に向けた需要開拓に努めた。

次に、主な資金収支内容においては、事業活動収入の施設使用料収入で 10 月の御旅屋セリオへの移転に伴い、ホールや会議室、団体事務所等の施設貸出事業を廃止にしたことにより、対前年 8,376 千円の減となった。また、展示販売場収入は 23,361 千円で、緊急事態宣言発令による臨時休業や移転期間休業があったものの対前年 1,241 千円の減に止まった。補助金収入では運営・事業費のほか、高岡市からの移転整備や新型コロナウイルス補助金、施設整備償還補助金等が増加し 307,956 千円となり対前年 263,711 千円の増となった。一方、事業活動支出においても御旅屋セリオ共益費等の賃借料 30,907 千円で対前年 30,004 千円の増、移転に係る費用として委託費 52,318 千円で対前年 43,270 千円の増となった。その結果、事業活動収入計が 347,785 千円、事業活動支出計が 164,083 千円で収支差額は 183,702 千円となった。

投資活動収支では、投資活動収入が 2,509 千円、投資活動支出はセリオ移転に伴う内装工事の建物建設 114,192 千円の支出等により、投資活動支出計は 138,023 千円で収支差額は△135,513 千円となった。

財務活動収支では、長期借入金 of 全額返済により、収支差額は△45,780 千円であった。

以上、事業活動、投資活動、財務活動の収支差額を合わせた当期収支差額は 2,409 千円となり、前期繰越収支差額 12,133 千円を加えた次期繰越収支差額は 14,542 千円となった。

【公益目的事業】

1 地場産業拠点施設運営事業

(1)高岡地域地場産業センター設置管理事業

施設清掃や修繕により、利用しやすい施設維持を行なった。

また、令和 2 年 10 月の施設移転に向け、高岡市の支援を受け各業界と連携し、新たな地場産業の拠点施設となるよう御旅屋セリオ 2 階の施設整備を行った。

なお、文化財修理工房については高岡市創業者支援センターの 4 号棟に移設することとし、工房内の整備は高岡市で対応された。

「旧高岡地域地場産業センター(開発本町)」

- ・樹木撤去工事
- ・敷地廻りバリケード設置工事

「新高岡地域地場産業センター(御旅屋町)」

- ・移転整備工事一式

(2)施設貸出事業

旧センターの施設貸出を行う中で公益目的事業に合致した事業を行うものについては、期間・利用料について施設利用規程に基づき優遇措置を行った。

2 地場産業普及開拓事業

(1)販路開拓事業

伝統工芸品産業支援事業を活用し、各伝統的工芸品産地から出展希望事業者を集い全国的な見本市である「東京インターナショナル・ギフト・ショー春 2021 第 9 回 LIFE×DESIGN」へ出展した。出展においては、各出展企業がより効果的に商品紹介がおこなえるようブース設計業者と連携し展示空間をプロデュースした。また、展示会では、ブース内にアルコール消毒液の配置、マスクやフェイスシールドを着用するなど新型コロナウイルス感染症対策を行い、伝統的工芸品の PR および需要開拓に努めた。

「東京インターナショナル・ギフト・ショー春 2021 第 9 回 LIFE×DESIGN」

- ・期 間 令和 3 年 2 月 3 日(水)～5 日(金)

- ・場 所 東京ビックサイト南展示棟 南3・4ホール
- ・出展企業 高岡銅器10社、越中和紙1社 合計11社
高岡漆器、越中福岡の菅笠、井波彫刻、庄川挽物木地の産地は、出展希望業者がなかったため産地紹介のみ
- ・出品数 336品
- ・来場者数 全体で94,335人（内海外来場者0人）
- ・会期中成果 商談件数136件、見積依頼件数16件、成約件数5件

(2)地場産業品普及事業

①全国の地場産業振興センター等が開催するイベントへの出展等

全国の地場産業振興センター等が開催するイベントに高岡地域の伝統的工芸品や地場産品等を出展・紹介し、地場産品のPRを行った。

ア「じばさん年末フェア2020」への出展

- ・期間 令和2年12月5日(土)、6日(日)
- ・場所 燕三条地場産業振興センター 1回多目的大ホール

②観光関連事業への参加協力

新型コロナウイルス感染症の影響により観光関連事業が中止となり、参加協力ができなかった。

③高岡地域地場産業センター展示場を利用した県内地場産品情報の提供

展示販売場において、伝統的工芸品や県内地場産品の展示紹介を行った。

なお、御旅屋セリオ移転準備のため令和2年8月31日をもって旧施設の展示販売場の営業を終了し、令和2年10月3日より移転リニューアルした施設において、伝統工芸品の展示紹介を実施した。

※緊急事態宣言発令(1回目)により令和2年4月18日～5月17日の期間は臨時休業。

④「高岡御車山会館ギャラリーショップ」の運営

山町筋において、伝統的工芸品を中心としたギャラリーショップを運営し、地域内外の方々へ魅力的な情報発信に努めた。

※緊急事態宣言発令(1回目)により令和2年4月10日～5月17日の期間は臨時休業。

⑤イオンモール高岡西館「T. O C U L」の運営協力

(株)ジェック経営コンサルタントが運営するイオンモール高岡西館「T. O C U L」に協力を行い、県内地場産品の普及に努めた。

(3)来館者誘致事業

御旅屋セリオ2階へ移転リニューアルしたことを広く周知するため、メディア等に対して情報提供を積極的に行い来館者の誘致に努めた。新高岡駅の新高岡駅観光交流センターGALLERY MONONO-FUや高岡御車山会館ギャラリーショップに当センターのポスターやチラシを掲示するなど、3施設間相互の誘客に努めた。

(4)地場産業情報提供事業

①HP等を利用した情報発信

公益目的に沿うようホームページを活用し、財団事業についての概要説明や情報提供の充実を図るとともに、当地域の地場産業や代表商品の魅力、使い方等をより具体的に紹介できるよう情報発信に努めた。

②高岡地域地場産業センター展示スペース等を利用した情報提供

事務室前通路等を利用し各種企画展を行ったほか、伝統工芸PRパンフレットを設置し情報発信を行った。また、ZIBAショップ内の展示スペースを活用し、新商品開発の発表などの企画展示を実施した。

令和2年12月10日～22日 第50回高岡漆器展示会(伝統工芸高岡漆器協同組合主催)

令和3年2月18日～3月23日 課題のデザイン展2(高岡市デザイン・工芸センター主催)

③県内地場産品の情報提供を目的とした産業資料館の充実

県内の伝統的工芸品の製造工程を紹介し、伝統工芸士等の作品を展示することにより伝統工芸品の普及を図った。

なお移転リニューアル後は、歴史や製造工程のパネル紹介のみとなったが、スタッフが積極的に声をかけ、紹介するなどの対応を図った。

3 人材育成事業

(1)青少年育成事業

伝統的工芸品への理解と「ものづくり」への関心を高めるため、体験工房、展示販売場、産業資料館を活用し、小・中・養護学校の児童・生徒の体験実習を支援した。体験実習及び見学に訪れた人数は、令和2年度から授業対象学生の見直しにより457人(昨年1,601人)であった。

①「ものづくり・デザイン科」授業の実習支援

鋳物体験工房や漆器体験工房、展示販売所、産業資料館を活用し、高岡市内小・中学校の「ものづくり・デザイン科」体験教室に支援・協力を行った。令和2年11月13

日を初回に、年間 6 日間にわたって延べ 4 校(164 名)が体験実習した。

ア 鋳物の体験（錫の鋳込みを実習）

- ・小学 6 年生 4 校（164 名）

イ 漆器の体験（螺鈿貼りを実習）

- ・利用なし

ウ 産業資料館、ZIBA の見学

- ・小学 5 年生 6 校（265 名）、中学 1 年生 1 校（41 名）

②教職員等指導者の育成

例年、小・中学校教職員を対象にした「ものづくり・デザイン科」授業に必要な技術・知識習得と指導者養成を目的とした鋳物体験及び漆器体験の講座を夏休み期間中に開催していたが、緊急事態宣言発令により長期休校となった結果、学習の遅れなどを取り戻すため夏休みが短縮されたことで小・中学校の教職員が参加できる状況でなかったことから中止した。

(2)工芸技術体験普及事業

高岡市民はもとより幅広く工芸技術を体験できる機会を提供した。

※令和 2 年 4 月 18 日～5 月 17 日 緊急事態宣言発令に伴い中止。

※令和 2 年 8 月 1 日～10 月 2 日 移転作業に伴い中止。

- | | |
|-------------------------------|---------------------|
| ・鋳物体験（ミニ水盤、ぐいのみ） | 335 人(昨年度 298 人)の参加 |
| ・漆器体験（ペンダント、ミニパネルなど） | 159 人(昨年度 101 人)の参加 |
| ・特別体験（菅コースター） | 82 人(昨年度なし)の参加 |
| ・移転オープン体験（菅、井波彫刻、庄川挽物、越中和紙など） | 152 人の参加 |

(3)産学官連携事業

①高岡地域地場産業センター愛称 Z I B A (ジーバ) のロゴマーク作成

前年度、富山大学芸術文化学部との連携で当センターの愛称を決めたことから、本愛称 ZIBA（ジーバ）を御旅屋セリオ移転時に広く告知し、活用していくためのロゴデザイン作成を実施した。ロゴデザインは、富山大学芸術文化学部内において学生公募を行い 18 点のロゴデザイン案を集めた。審査は、伝統的工芸品指定関連団体、高岡市、富山県総合デザインセンター、富山大学芸術文化学部の学生など 25 名により投票を行った。結果、多くの票を得た太田未優さんのデザインに決定し、高岡市デザイン・工芸センターによりデザインの細かい修正を行った後、リニューアルオープンに向けて、店舗内サインや包装紙、紙袋、名刺、PR チラシなどに広く活用し親しまれる新たな施設となるよう取り組んだ。

②施設PR活動

富山大学芸術文化学部の学生から新たな施設に対し、10月3日と12月24日の2回、意見を聴取した。富山大学芸術文化学部の安嶋准教授の協力のもと授業の中で、学生が展示販売場やものづくり体験、撮影スタジオなどを利用し感じたことをまとめ、学生がSNSなどを活用して、ZIBAの情報発信を実施した。

また、来館されたお客様にZIBA施設を知っていただくため、富山大学芸術文化学部の学生数名が実際に鋳物や漆器体験、スタジオでの撮影などを体験し紹介する動画を製作した。撮影した動画は、施設内のデジタルサイネージで紹介することで伝統工芸品の展示販売所だけでなく体験工房や撮影スタジオなどの施設機能を広く情報を発信し活用いただけるよう取り組んだ。

4 地場産業支援事業

(1)商品開発支援事業

①商品開発支援

商品企画の継続・充実とその展開を通じた情報提供を行ったほか、ニーズの把握に努め業界へのフィードバックを行った。

②POS管理によるマーケティング支援

各販売施設における販売実績・POSデータを利用する独自の販売集計システムにより、販売実績を迅速に処理し、産地組合等へ販売情報を速やかに提供した。また、ZIBA展示場のPOSデータを活用し消費者ニーズ分析を行い業界へ情報提供した。

(2)産業支援事業

①事務運営による団体支援

ア 高岡地域文化財等修理協会

総会、部会長会議の開催や販路開拓事業、文化財修理等における事業に対して事務支援を行った。

イ 富山県伝統工芸士会

総会、役員会、正副会長会議の開催や富山県伝統工芸士展等の事業に対して事務支援を行った。

ウ 富山県伝統産業協議会

各伝統工芸品産地組合が実施する小・中学生を対象とした「伝統工芸品ふれあい教室」の開催等に対して事務支援を行った。

②団体に対するその他の支援

公益目的に合致する任意団体等の活動に対し助成を行った。

ア 高岡伝統産業青年会

第 26 回『くらしに生きる伝統のかほり展』を今回はコロナ禍に対処したオンライン開催に対して支援した。

(ア)「ZOOM セミオーダー」実施

- ・期間 令和 2 年 10 月 3 日(土)～11 月 30 日 (月)
- ・場所 ネットショップ 「冥土のおみやげショップ スーベニ屋」

(イ) 職人の仕事を見学できる番組作成と配信

- ・期間 令和 2 年 10 月 17 日 (土) ～25 日 (日) ※いつでも視聴可能
- ・場所 YouTube 「冥土のおみやげチャンネル」

イ 伝統工芸高岡漆器協同組合

高岡漆器展示会の開催、全国漆器展への出展等の事業実施に対して支援した。

(ア)「高岡漆器展示会」の開催

- ・期間 令和 2 年 12 月 10 日(木)～12 月 22 日(火)
- ・場所 (公財) 高岡地域地場産業センター

(イ)「第 55 回全国漆品展」への出展

- ・期間 令和 2 年 9 月 17 日(木)～10 月 1 日(木)
- ・場所 東京都港区 伝統工芸青山スクエア
- ・主催 日本漆器協同組合連合会、(一社) 日本漆工協会、(一財) 伝統的工芸品産業振興協会

(ウ) 伝統工芸青山スクエア常設展

- ・期間 令和 2 年 4 月 1 日(水)～令和 3 年 3 月 20 日(土)
- ・場所 東京都港区 伝統工芸青山スクエア

ウ 高岡巧美会

高岡の伝統工芸展の開催を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止されたことにより、助成は行わなかった。

エ 工芸都市高岡クラフトコンペ実行委員会

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、クラフトコンペティションの代替事業となる作品展等の実施に対して支援した。

(ア)「高岡で生まれたクラフトとその現在展」の開催

- ・期間 令和 2 年 10 月 3 日(土)～11 日(日)
- ・場所 御旅屋セリオ 2 階特設会場、御旅屋セリオ 5 階ホール B、富山県産業高度化センター

- (イ) 「クラフツーリズム TV」(オンラインによる工場見学) 配信
 - ・期間 令和 2 年 10 月 24 日(土)、25 日(日) ※現在も視聴可能
 - ・場所 YouTube「冥土の土産チャンネル」
- (ウ) メッセージ動画、過去グランプリ紹介動画作成と配信
 - ・期間 令和 2 年 9 月 30 日(水)～10 月 2 日(金) ※現在も視聴可能
 - ・場所 YouTube「工芸都市高岡クラフトコンペ実行委員会」
- (エ) HP、SNS アカウント等での情報発信(既存の 2 媒体に加え、3 媒体を新規追加)

オ 富山県伝統工芸士会

令和 2 年 9 月 14 日～27 日に日本橋とやま館において、第 24 回富山県伝統工芸士展の開催を予定していたが、首都圏での新型コロナウイルス感染拡大の影響を鑑み中止されたことにより、助成は行わなかった。

カ 富山県伝統産業協議会

小・中学生を対象に、伝統的工芸品の製作技術や手作り品への愛着を将来に向けて継承していくため、伝統的工芸品の制作体験をとおし、理解や興味を深めてもらうことを目的とした事業に対して支援した。

- (ア) 銅器に親しむつどい
 - ・開催日 令和 2 年 12 月 19 日(土)
 - ・場所 高岡地域地場産業センター ものづくり工房鋳物
 - ・内容 「錫製バンゲル」の製作
- (イ) 漆器に親しむつどい
 - ・開催日 令和 2 年 12 月 5 日(土)
 - ・場所 高岡地域地場産業センター ものづくり工房漆器
 - ・内容 青貝塗り加飾の体験(小箱)
- (ウ) 井波彫刻の体験教室
 - ・令和 3 年 3 月に事業を実施する予定で計画していたが、井波彫刻協同組合の役員会において、新型コロナウイルス感染症を懸念する意見が多くあげられたことにより急遽、中止することとなった。
- (エ) 庄川挽物木地の体験教室
 - ・開催日 令和 2 年 11 月 2 日(月)、9 日(月)
 - ・場所 庄川水記念公園実演室、砺波市立庄川小学校
 - ・内容 伝統的工芸品の学習、木の盆への絵付け体験
- (オ) 越中和紙の体験教室
 - ・開催日 令和 2 年 10 月 20 日(火)～12 月 9 日(水)

- ・場所 五箇山和紙の里、桂樹舎、
- ・内容 和紙工場見学、手すき和紙製作体験

(カ) 越中福岡の菅笠の体験教室

- ・開催日 令和2年11月25日(水)
- ・場所 高岡市立福岡中学校
- ・内容 豆笠の製作体験

5 技術継承支援事業

高岡地域文化財等修理協会の事務局として、現地調査や見積作成、依頼者との連絡調整を行う等、協会の機能強化を図るための事務的支援を行った。

また、山車等の修理における修理工程の記録や、作業工程・計測データの収集を行い、工芸技術の保存継承に資する資料の整備にも努めた。

【収益事業】

1 不動産貸事業

入居者が快適に利用できるよう適宜清掃や修繕を行い、施設の環境整備に努めた。

なお、移転後は旧施設で営業中の入居者に対し、必要とする範囲の貸付けを行った。

「旧高岡地域地場産業センター(開発本町)」

- ・上水配管補修工事
- ・電灯・電力幹線新設工事
- ・間仕切り壁設置工事

2 施設貸出事業

館内環境の整備や新型コロナウイルス感染症の注意喚起のチラシの掲示、消毒液の設置などを行うとともに衛生管理を図り利用者が安心して使用いただけるように努めた。

御旅屋セリオへの移転に伴い、一般に貸与できる会議室、ホール等の設備がなくなったため、事業を廃止した。

3 一般品目販売事業

施設利用者の利便に供するような飲料品や観光土産品等、公益目的には合致しない商品については、展示場販売額の1割を目安に取り扱いを継続した。

※緊急事態宣言発令(1回目)により令和2年4月18日～5月17日の期間は臨時休業。

【管理事業（法人会計）】

1 理事会・評議員会の開催

当センターの適正・円滑な運営を図るため、理事会・評議員会を開催した。

(1)理事会

ア 第27回理事会(書面)

- ・開催日 令和2年4月1日(水)
- ・議案 副理事長(代表理事)の選定について

イ 第28回理事会(書面)

- ・開催日 令和2年5月27日(水)
- ・議案 平成31年度事業報告について
平成31年度収支決算の承認について
定時評議員会への議案提出について
- ・報告事項 令和2年4月以降の業務執行内容について

ウ 第29回理事会(書面)

- ・開催日 令和2年7月15日(水)
- ・議案 副理事長(代表理事)の選定について

エ 第30回理事会

- ・開催日 令和3年3月26日(金) 14時00分～16時20分
- ・会場 高岡地域地場産業センター ミーティングルーム
- ・議案 令和3年度伝統産業支援事業助成金の審査・選考について
令和3年度事業計画について
令和3年度収支予算について
資金調達及び設備投資の見込みについて
資金取得資金の取崩し
公益財団法人の顧問の解任及び選任について
- ・出欠 出席理事7名、欠席理事4名、出席監事2名

(2)評議員会

ア 第1回評議員会(みなし決議)

- ・開催日 令和2年4月1日(水)
- ・議案 役員の選任について

イ 定時評議員会(書面)

- ・開催日 令和2年6月19日(金)
- ・議案 平成31年度(公財)高岡地域地場産業センター収支決算について
役員の選任について
評議員の選任について

- ・報告事項 平成 31 年度(公財)高岡地域地場産業センター事業報告について
ウ 第 2 回評議員会(みなし決議)

- ・開催日 令和 2 年 7 月 15 日 (水)

- ・議案 役員の選任について

2 全国地場産業振興センター協議会への参加

各センターの事業運営について意見交換を行った。

(1)書面総会

- ・開催日 令和 2 年 7 月 15 日(水)

- ・報告 令和元年度事業報告及び収支決算について、監査報告

令和 2 年度事業計画(案)及び収支予算(案)について

令和 2 年度年間費の臨時的変更について

令和 3 年度全国物産展の開催について

次期総会開催地について

- ・連絡事項 令和 2 年度物産展調査について

会員の退会について (公益財団法人和歌山地域地場産業振興センター)

第 2 回「全国のええもん うまいもんフェア」に関するアンケート結果